

1 宮津市の人口・世帯数(平成22年9月末現在)

【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

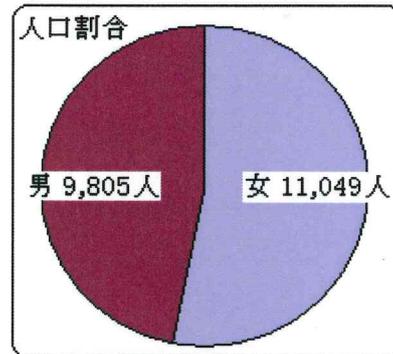
人口 20,854人(男:9,805人、女:11,049人)
(前年同月比 -210人)

世帯 8,832世帯
(前年同月比 +19世帯)

<資料:宮津市役所 市民室>

9月末の宮津の人口は、前年同月比-210人(-1.0%)
で20,854人となり、依然、減少傾向が続いている。

しかしながら、世帯数は対前年同月比+19世帯となり、
核家族化の傾向がみられる。



2 一般職業紹介状況

	新規求職数	新規求人数	就職件数	有効求人倍率(実数)		
				宮津出張所	京都府	全国
平成22年6月	215	212	77	0.44	0.49	0.47
(前年同月比)	+15	+24	+2	+0.07	+0.03	+0.07
平成22年7月	192	279	104	0.58	0.51	0.50
(前年同月比)	-7	-7	+16	+0.07	+0.05	+0.09
平成22年8月	175	172	80	0.59	0.54	0.53
(前年同月比)	-13	+38	+11	+0.13	+0.08	+0.11

<資料:ハローワーク宮津>

有効求人倍率については、全国・京都府共に前年同月比で増加しており、宮津出張所においても前年同月比で0.07~0.13増加している。また、就職件数においても4ヶ月続けて前年同月比で増加している。

【有効求人倍率とは】公共職業安定所で扱った月間有効求人数を月間有効求職者数で割ったもの。

この値が1より大きければ、求職者よりも求人数が多いことを意味し、就職口を求めている人にとっては相手を選ぶことができるため有利となっており、それだけ経済に活気があると考えられる。

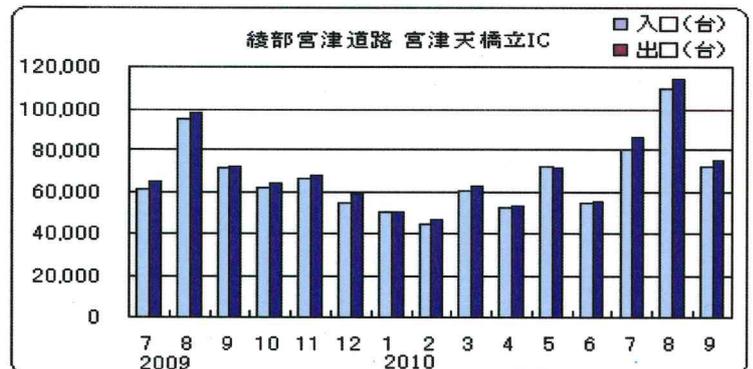
3 宮津観光入込状況

宮津天橋立IC交通量(綾部宮津道路)

	入口(台)	出口(台)
平成22年7月	80,402	86,097
(前年同月比)	+18,672	+21,404
平成22年8月	109,793	113,686
(前年同月比)	+15,182	+15,621
平成22年9月	72,752	74,811
(前年同月比)	+1,269	+2,483

<資料:京都府道路公社>

宮津天橋立IC利用者は高速道路割引及び京都縦貫自動車道の一部無料化(6/21~)により大幅な伸びを示している。



宮津市内主要駐車場 利用状況 ※()は内バス台数

	市宮天橋立	智恩寺	パーキングはままち	籠神社
平成22年7月	1,668台(3台)	5,043台(146台)	11,232台(11台)	2,110台(746台)
(前年同月比)	+672台(0台)	+328台(-365台)	+1,218台(+7台)	+928台(+112台)
平成22年8月	3,302台(5台)	9,513台(85台)	12,073台(11台)	2,287台(379台)
(前年同月比)	+100台(-2台)	+461台(-189台)	+822台(+1台)	+872台(-200台)
平成22年9月	1,015台(2台)	5,514台(176台)	10,445台(4台)	2,408台(906台)
(前年同月比)	-1,483台(-1台)	-796台(-316台)	+1,321台(+3台)	+681台(+39台)

<資料:宮津市役所 建設室・智恩寺・(株)まちづくり推進機構・籠神社>

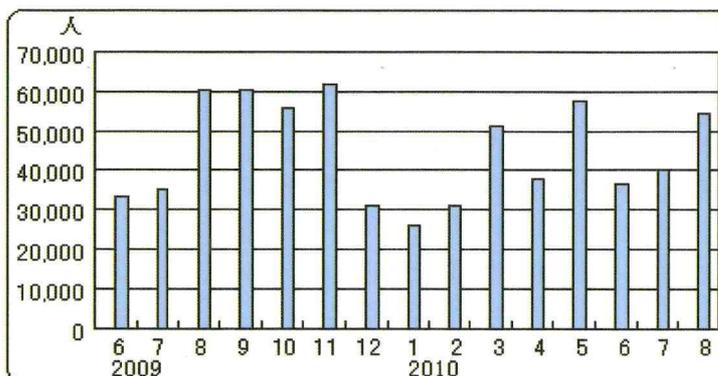
宮津市内主要駐車場の3ヶ月間の入込数については減少した駐車場もあるが、全体の前年同月比では5,124台の増加であった。バスは911台の減少(3ヶ月間)であった。

天橋立傘松公園 ケーブルカー・リフト利用客数

平成22年6月	36,714人
(前年同月比)	+3,502
平成22年7月	40,308人
(前年同月比)	+5,328
平成22年8月	54,059人
(前年同月比)	-6,179人

<資料:丹後海陸交通株式会社>

6月の利用客数は前年同月比で10.5%の増加、7月も15.2%の増加だったが、8月は10.3%の減少であった。

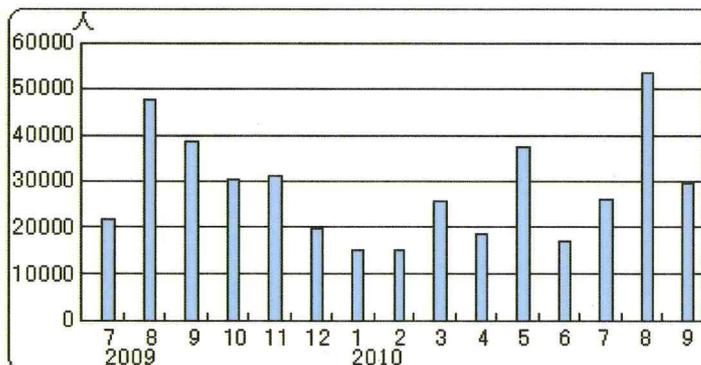


天橋立ビューランド モノレール・リフト利用客数

平成22年7月	26,319人
(前年同月比)	+4,544人
平成22年8月	53,665人
(前年同月比)	+5,891人
平成22年9月	29,780人
(前年同月比)	-8,942人

<資料:天橋立総合事業株式会社>

8月の利用客は前年に比べ+12.3%となり、過去最高の利用客数であった。



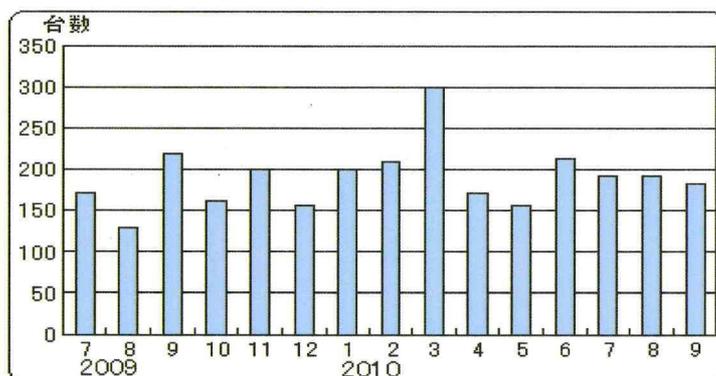
4 自動車車庫証明申請台数

【普通車(新車・中古車)】

平成22年7月	193台 (前年同月比 +20台)
平成22年8月	193台 (前年同月比 +64台)
平成22年9月	182台 (前年同月比 -38台)

<資料:宮津警察署>

エコカー減税効果で8月の申請台数は193台と前年同期比 +50%と大幅に増加している。



5 トピックス

①『宮津市プレミアム商品券』発行事業

- 販売セット数 12,000セット 金額 1億2,000万円
(プレミアム込みの総額 1億3,200万円)
- 取扱店舗数 241店舗(192事業所)
- 販売期間 6月15日(火)～7月1日(木) 17日間で **完売**。
- 使用期限 9月15日(水)
- 換金状況

	換金日	換金枚数	換金率	換金率(累計)
第1回目	6月23日(水)	11,163枚	8.46%	8.46%
第2回目	7月 5日(月)	35,982枚	27.26%	35.72%
第3回目	7月13日(火)	19,392枚	14.69%	50.41%
第4回目	7月23日(金)	18,330枚	13.89%	64.29%
第5回目	8月 3日(火)	16,050枚	12.16%	76.45%
第6回目	8月23日(月)	14,508枚	10.99%	87.44%
第7回目	9月 3日(金)	7,212枚	5.46%	92.91%
第8回目	9月24日(金)	7,286枚	5.52%	98.43%
第9回目	10月 4日(月)	1,765枚	1.38%	99.76%
第10回目	10月 25日(月)	最終換金日		

※ 10月25日(月)を過ぎると換金できませんので取扱店舗の事業所様はお気をつけ下さい。

②宮津景況調査アンケート(調査期間 平成22年7月～9月) 回答企業数 24社

※調査方法 建設業・小売業・卸売業・製造業・サービス業の5業種を、規模、事業内容等を考慮し、各10社以上にアンケートをお願いした。

問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

- ・建設業 景気の低迷と公共工事の減少で業界全体が不景気で、全ての項目について増加が無い。府・市・会議所への要望でも、公共工事についての要望が多い。
- ・小売業 「売上額」については67%の企業が「やや減少」と回答しており、「今後の売上見込」についても83%の企業が「やや減少」と回答している。また、「採算」については50%の企業が「やや悪化」と回答している。
- ・卸売業 景気(消費)の低迷で全ての項目について増加が無い。「仕入単価」・「採算」について50%の企業が「かなり上昇」・「かなり悪化」と回答している。
- ・製造業 「売上額」について33%の企業が「かなり増加」・「やや増加」と回答しており、「今後の売上見込」でも33%の企業が「やや増加」と回答している。
- ・サービス業 「採算」について43%の企業が「やや好転」と回答している一方、29%の企業が「かなり悪化」と回答している。「仕入単価」については43%の企業が「かなり低下」「やや低下」と回答している。

問2 現在直面している経営上の問題点がありましたら記入して下さい。

◇建設業

- ・採算の見込める工事の受注。
- ・公共工事の減少、民間景気悪し。

◇小売業

- ・人材育成。(2件)
- ・取引先の経営悪化。
- ・消費の低下、粗利益(%)の低下。
- ・資金繰り面の今後が心配。
- ・エネルギー転換。
- ・人口減(世帯減)。
- ・社員教育・指導。
- ・売上減少。
- ・最低賃金引上げに伴う人件費上昇。

◇卸売業

- ・消費人口の減少。
- ・販売単価の下落。
- ・需要の停滞。
- ・公共工事の減少。

◇製造業

- ・設備の老朽化。
- ・営業の出来る人材不足。
- ・売上の減少。

◇サービス業

- ・人事(コスト・教育・戦力)。
- ・設備(修繕・投資)。
- ・顧客数の減少。
- ・キャッシュフロー対策、支払いスパンの長期化等による運転資金の悪化。
- ・原価は上がるが売単価が上がらない。
- ・長期単価ダウンに反して材料費の高騰。

問3 上記の問題等について、現在、及び、今後実行しようとしている改善策等がありましたら記入して下さい。

○現在取組んでいる改善策

◇建設業

- ・経費節減。(3件)

◇小売業

- ・ネット事業による販路拡大。
- ・経費節減で当面の安定に重点意識。
- ・店の特色(物品以外の分野)に巾を広げる。
- ・お客さんの増加。
- ・経費節減に努め、業務の効率化を図る。
- ・社員教育・指導による営業強化。
- ・経費節減。

◇卸売業

- ・新規得意先の拡大。
- ・人材育成。
- ・経費節減。
- ・新商品開発。

◇製造業

- ・ネット販売。 ・経費節減。
- ・新規開拓。

◇サービス業

- ・人件費抑制と改革。 ・経費節減。
- ・過去の慣習を見直し、適正な取引を行う。 ・業務の効率化。
- ・営業強化策の推進。
- ・仕事に出来る事なら何でもお客さんの要望に答える。例) 草刈り、清掃など。

○今後実行しようとしている改善策

◇建設業

- ・民間からの受注強化。 ・新規顧客確保推進活動。
- ・新規事業の検討。 ・山林方面。

◇小売業

- ・人材教育。 ・関連業務の事業拡大。
- ・仕入先の検討。

◇卸売業

- ・取引先とのグループ化による販売・仕入強化、情報の共有化。

◇製造業

- ・設備の更新。 ・新規先の定期訪問。
- ・機械の更新による工程の合理化。

◇サービス業

- ・設備改善。 ・高齢層、女性のターゲット拡大。
- ・販売価格政策の見直し。 ・リピーター客の増員(料理・サービス)
- ・新規の別分野事業への取組。
- ・得意先への「何でも要望に答える」等を含む、販売アイテムの告知と増加により、既存の得意先で販売単価を上げる。

問4 府・市・会議所への要望。

◇建設業

- ・公共工事の増加。 ・資金面の安定を要望する。
- ・企業を守ることは、市民の生活を守ることであり、この観点からも公共事業においては、発注単価、最低制限価格等の引き上げを図り、採算を確保できるよう配慮頂きたい。
- ・工事予算が非常に厳しい。
特に建築においては、明細付の見積期の無い入札がある。
明細に無い物があっても、あくまで参考数量なので、入っているとされる。
ならば、明細があっても見積期間を長く取り、質疑をさせて貰って、落ちが無いようにして頂きたい。

◇小売業

- ・現在の不況は将来に続く大きな不安要素なので、経済安定(需要増加、粗利益の安定)に全力をお願い致します。

◇製造業

- ・市、会議所の目指すものが全くみえない。無力感が増す。
- ・由良にも少し目を向けて、誘客や設備、道路等整備して下さい。独自ではなかなか限界があります。

◇サービス業

- ・活性化対策(観光、店舗等)を行い、流通マーケットを作りあげること。
- ・年々人口が減り続けているので、魅力あるまち作りで人を集め、出て行かない対策が必要。
- ・滞在型観光地への手助け。
- ・早急に中小零細企業向けの対策なりセーフティーネットの構築。